えりチャンネル☆

ひだパックスは
たのしい「包む」で
いっぱいっ!!!

2021年 新春 Go!

あけましておめでとうございます！

コロナ禍で２０２１年を迎えることとなりました。１年前は普通の年明けだったのに、パンデミックが巻き起こるなんて…目に見えないウィルスの脅威は映画の世界だけかと思っていました。

昨年１１月にパッケージプラザに模様替えしたパックパックスも実は新型コロナウィルスの影響で２度オープンを見送りました。昨年中はもう難しいかと思っていたのですが、感染が治まりつつあったので、なんとか開店することができました。新聞広告、ブレス・SARUBOBOなどの地域紙に思い切って広告を載せました。そして、タイミングよく中日新聞さんに取り上げていただいたのは店舗改装を広く知っていただくいい機会となりました。

おはよう

包装資材 幅広く展開

織田 恵里さん(48)
高山・パックパックス取締役

高山市桐生町で営んでいる包装資材店「パックパックス」を二十四日、包装資材商社シモジマグループの「パッケージプラザ パックパックス高山店」にリニューアルオープンさせる。「お客さんが楽しんでもらえるような店にしたい。気軽に足を運んでもらえれば」と呼び掛けている。

斐太高校を卒業後、大阪府内のデザイン専門学校で学んだ。約一年間の会社員生活を経て、高山に郷愛。両親が経営していた包装資材会社に入社した。取扱商品を二般消費者向けにも販売しようと、パックパックスを一九九六年十一月に開店。弁当容器や金封、ビニール袋、段ボール、紙箱など包装資材一万二千点を取り扱う店舗に育てた。封筒や和紙などの老舗「加居堂」（京都府）の製品も、飛騨地域で唯一取りそろえている。

ラッピングサービスが人気だ。さまざまな模様の包装紙百六十種と色とりどりのリボン二百種からお気に入りを選んでもらい、贈答品を華やかに包む。

「包みたいもの、入れたいもの。お客さんのニーズに合わせて最適な商品を薦めることを心掛けている」と笑顔で話す。高山市桐生町。（八重樫智）

プレオープン前に一本のお電話をいただきました。２０年前に亡くなった母が、高卒後勤めた中部電力で同僚だったという女性からでした。この方は中日新聞の飛騨版が載るギリギリの地区にお住まいで、この記事を読んでくださり、苗字は違うけれどたぶん娘だろうと迷いながらもお電話くださったそうです。母の思い出話をきくと、他界してからかなり時間が経った今でも涙がでます。母がとても優しく人にも仕事にも忠実で、いつも前向きな人だったとお話ししてくださいました。この一本の電話は、コロナ禍 更に荒波にもまれるであろうという不安な経済に突き進む大きな力となりました。パンデミックでなくとも、父と母が創業依頼体験してきた経営は大きな問題にも直面してきたはずです。今後の世の中がどんな変化をしていくのかコロナの影響で更に不透明ですが、９割以上が女性の弊社パワー全開で（男性は社長である旦那ひとりです）今年一年もスタッフ一丸となり頑張ってまいります！

本年もどうぞ宜しくお願いいたします！！　　織田恵里

土曜日の営業時間の変更

昨年１１月から土曜日の営業時間を午後３時までと短縮させていただいております。

ご用命ください！

消毒用としてもお使いいただけるアルコール（セーフコールやパストリーゼなど）取り扱いございます。

シモジマグループ
パッケージプラザ パックパックス高山店 からのお知らせ

昨年11月から日曜日と祝日を休業日とさせていただいておりますご不便をおかけいたしますが何卒ご了承ください。

＜１月の休み＞
１０、１１、１７、２４、３１日

＜２月の休み＞
７、１１、１４、２１、２３、２８日

パックパックスブログ
毎日更新中！

〒506-0004 高山市桐生町8－410
FAX 0577-33-5241